

兄弟姉妹の皆様

私たちのローマのパパ様・フランシスコ教皇様は今回のシノドスにおいて、「第2バチカン公会議を見直し、立ち戻り、生かしてほしい」とメッセージをくださいました。

2022年待降節から、ミサの式次第が新しくなりました。これも、その新しい流れの一つです。

今回はサンパウロ発行「第2バチカン公会議 公文書全集 南山大学監修「第1章 典礼の刷新と促進のための一般原則」の「Ⅲ 聖なる典礼の刷新」について解説します。

私たちも、ミサや祈りに主体的に関われるように、一緒に学びましょう。

尚、わかりやすい表現を用いるため、多くの資料を参考にさせていただいておりますことをはじめにお伝えしておきます。

主任司祭 ペトルス・ウィリー・ソバ・ドイ O.C.D.

Ⅱ 聖なる典礼の刷新

典礼憲章

⑦ ～第二バチカン公会議公文書より～

教会は【典礼】の刷新について、イエス様を信じる私たちが、豊かな恩恵をより確実に得るためのものとして注意深く取り組むことを望んでいます。

それは、【典礼】には神様の制定により変えることができない部分と、時代の変遷などによって変えることができる部分、寧ろ変更すべき部分があるからです。

この刷新によって、「典礼文」と「儀式」が示す聖なることがらが明白に表現され、イエス様を信じる私たちが聖なることがらを出るだけ容易に理解し、共同体としての祭儀にふさわしい、充実した行動的な参加ができるように整える必要があります。

そのために、聖なる公会議は次の一般基準を定めています。

一般基準

- ・ 典礼の規制権：聖なる【典礼】の規制は、教会の権威だけによってのみ行われます。
この権威は使徒座にあり、また、法の規定によって司教のもとにあります。
したがって、他の何人も、たとえ司祭であっても、自分の考えで【典礼】に何かを加えたり、削ったり、変更したりしてはいけません。
- ・ 伝統 と 進歩：健全な伝統が保たれ、正当な進歩への道が開かれるよう、【典礼】の改訂に先立って、必要な検討が行われなくてはなりません。なお、教会のために確実に役立つ改革でないものは行ってはなりません。
- ・ 聖書 と 典礼：典礼行事にとって聖書は最も重要なものです。聖書から朗読が行われ、説教によって説明されます。聖書から詩編が歌われます。聖書の息吹と感動から【典礼】の祈りや聖歌がわきだします。
聖書に親しむ生き生きした心を養う必要があります。
- ・ 典礼書の改訂：典礼書は世界各地の有識者を伴い司教と相談の上、早急に改訂されなくてはなりません。

(つづく)